

# ふくろう通信 一第3号一

2016. 10. 16 発行



編集長	松本 佳世子
副編集長	稲田 麻里
イラスト	王 揚
写真	兵頭 舞美
Support	広報委員会

2680 地区 IAC 活動の充実には目を見張るものがあります。「青少年のつどい」における、彼らのしっかりとした活動報告に一同感心いたしました。RAC は地区内だけでなく他地区のクラブとの交流も積極的に行っています。ローターアクターから RYLA への参加があり、その逆も見られます。財団兵庫学友会や米山奨学生学友会兵庫からも RYLA に参加していただいています。さらに、ライラリアンからロータリアンになった方もおられます。

このようにクロスプロモーションが盛んに行われ、今やさまざまな絆で結ばれたローターファミリーとなっています。RYLA 学友会としては、来年創立 10 周年を迎えるにあたって、いまいちど初心に立ち返り、RYLA の本質をよく考えてみようと思います。

わたしたちに何が求められているのでしょうか。わたしたちへの期待にどう応えてゆけばよいのでしょうか。 RYLA 学友会会長 倉本 勉



## 2016 年度 2680 地区 RYLA 学友会 会長方針

### RYLA の本質と実践

- RYLA で学んだことを問い直す—
- RYLA 修了生としての奉仕実践—

## ◇◇純ちゃんの家◇◇

北海道に棲むエゾ・マングースは、<sup>はるにれ</sup>春 榦 という大木の木の芽を食べます。彼らは、一本の春榦の木の何十万個もある芽のうち、全体の 5 分の 1 以上は、決して食べないで残すのであります。それ以上食べると、木のためによくない。後で芽が出なくなるかも知れない。惹いては、それは自分達のためにもならない、ということをよく知っているからであります。

しかも、それは、一匹で食べても、数匹で食べても同じ、決して一本の大木の芽の 5 分の 1 以上は食べないのであります。この智慧は、一体、誰が授けたのか。それは本能だと謂うのであれば、その本能は一体誰が授けたのか。神様なのか、仏様なのか、それとも大自然のなせる技なのか、不思議といえば不思議、人間には判らぬことが多すぎます。したがって、私達は、この宇宙を統べてある大なるものの存在を信じざるを得ないのであります。宇宙を統べてある大なるもの、それは、神様も仏様も超えたある大なるものであります。したがって、また、人間は <sup>すべから</sup> 須く謙虚でなければならない、と思うのであります。

深川 純一



## 今井鎮雄先生からライラリアンへのメッセージ

### 余島讃歌

君は、  
 紅い太陽が  
 刻々と色を変え乍ら  
 屋島の蔭に  
 落ちるのを見たか  
 瀬戸を渡った夕風が  
 何事かを松の林に  
 語り過ぎたのを聞いたか  
 干潟に蟹を追う  
 子ども達の喚声  
 ヨットから聞こえる  
 若者たちのギター之音



私は、  
 砂浜に転がって  
 大空に浮かぶ白い雲と  
 水平線を走る観光船を見乍ら  
 地球の<sup>ふりか</sup>齢を回顧える



--第3回 RYLA セミナー報告書より--

## 1/16(土) 第3回深川先生を囲む会 於：須磨寺

2016 年 1 月 16 日(土) 一弦琴(須磨琴)の伝統ある美しい音色から始まった深川先生を囲む会。

今回は、「リーダーの中のリーダーとは」についてご講演いただきました。

「How to ではなく、リーダーの心、哲学が必要」、「現象に惑わされず、本質を見抜く力」など真のリーダーとして必要な力や「最大となることを望まず、継続できることを大切にすること」といったリーダーとして、またこれからの自分の道を再度見つめ直す貴重な時間となりました。



◆第38回RYLAセミナー◆

2016年5月19日(木)～22日(日) 余島野外活動センターにて、第38回RYLAセミナーが開催されました。RYLAセミナーは、恵まれた自然の中で、テーマに基づく講義、キャビンタイム、思索の時間、バスセッション、フォーラムなどを通じて、学び語り合い、考えるセミナーです。今回参加した受講生、受講生の相談役となったカウンセラーから、参加して感じたことなどをご報告します！



人前で話すことに慣れていない受講生が、大勢の人の中で自分の考えや感じていることを表現するためには、他の人に比べるととても大きな勇気が必要です。受講生同士で自然に発言したくなる状況が生まれ、そしてドキドキしながら発せられた、そのたった一人の「小さな声」は、全ての受講生の胸に大きく響きます。もっと聴きたくなり、みんなは精一杯に耳を傾けます。そして、その「小さな声」の大きな影響は他の受講生にとっても大きな変化に繋がります。そこに至るまでには、4日間という時間と寝食を共にしながらのコミュニケーション、そしてその中で生まれる信頼関係が必要なのです。

私はカウンセラーという立場を通じて、それを目の当たりにしてきました。私たちカウンセラーは四国と兵庫が気持ちを一つにして、受講生に、「失敗しても大丈夫。カウンセラーがついているからね。」と寄り添っていき、セミナーが終わってからもずっとそんな存在であり続けたいと願っています。

◆ 第35～38回 カウンセラー 伊藤 幸美 ◆



◆ 修了生 橋本 幸之介 ◆

縁あって RYLA セミナーへの受講の機会を頂き、とても充実した4日間を過ごすことができました。

初日は参加者のほとんどがセミナーの内容や意図を理解していなかったため、不安や戸惑いの表情があったことを覚えています。しかし共同生活が始まり、一緒に講義を受け、与えられた課題に向かって意見を出し合い協力し合うことで、そこに信頼と絆が生まれました。

私が RYLA で学んだことは、人との出逢いは素晴らしいものであり、そのためには自ら行動を起こす勇気が必要だと感じました。RYLA との出逢いは私の人生において良い方向へ導く分岐点になったと確信しております。貴重な体験の機会を頂き有難うございました。



◆ 修了生 大澤 由貴 ◆

RYLA セミナーは私にとって貴重な経験となりました。出会ったこともない人達と1つのテーマについて熱く話し合い、時にはぶつかりながらも意見を交わし、同じ方向に向かっていく。チームの強さを感じ、発表を終えた時の達成感は忘れられないものとなりました。

そして何よりも、班のみんなに感謝しています。3泊4日という限られた時間の中で色々な話をし、すぐに意気投合でき、今後の人生の中でも大切にしたい、ずっと繋がっていたい、と思える仲間に出会えました。

余島での経験を糧に、壁にぶつかった時は RYLA の事を思い出し、前に進んでいこうと思います。



学友会活動

3/20(土)～21(日)  
RYLA学友会セミナー  
於:しあわせの村

5/19(木)～22(日)  
RYLAセミナー  
於:余島



RYLA学友会は、RYLAセミナーを通して作られた受講者同士のつながりを継続してもらうため、また、今後の受講生をサポートするなど、RYLAを支援することを目的に活動しています。

春のお花見、夏のサマホリといった親睦会をはじめ、学友会セミナーやロータリーファミリーである他団体との交流会など様々な活動を行っています。

詳細はコチラ↓より  
チェック☆して下さいね！

8/28(日)  
すまйл SUMMER  
HOLIDAY 2016  
於:須磨海岸 海の家  
「かっぱ天国」



♪ RYLA 楽団 ♪

★出演依頼受付中★  
☆楽団員募集中☆

お問い合わせはこちら↓  
rylamusicband@gmail.com



ホームページ

<http://rylagakuyu.blogspot.jp/>



RYLA2680

